

国立教育政策研究所

令和2年度教育改革国際シンポジウム

ICTを活用した公正で質の高い教育の実現

2021年2月16日



質の高い教育の公正について考える: コメントと議論

卯月由佳（国立教育政策研究所）

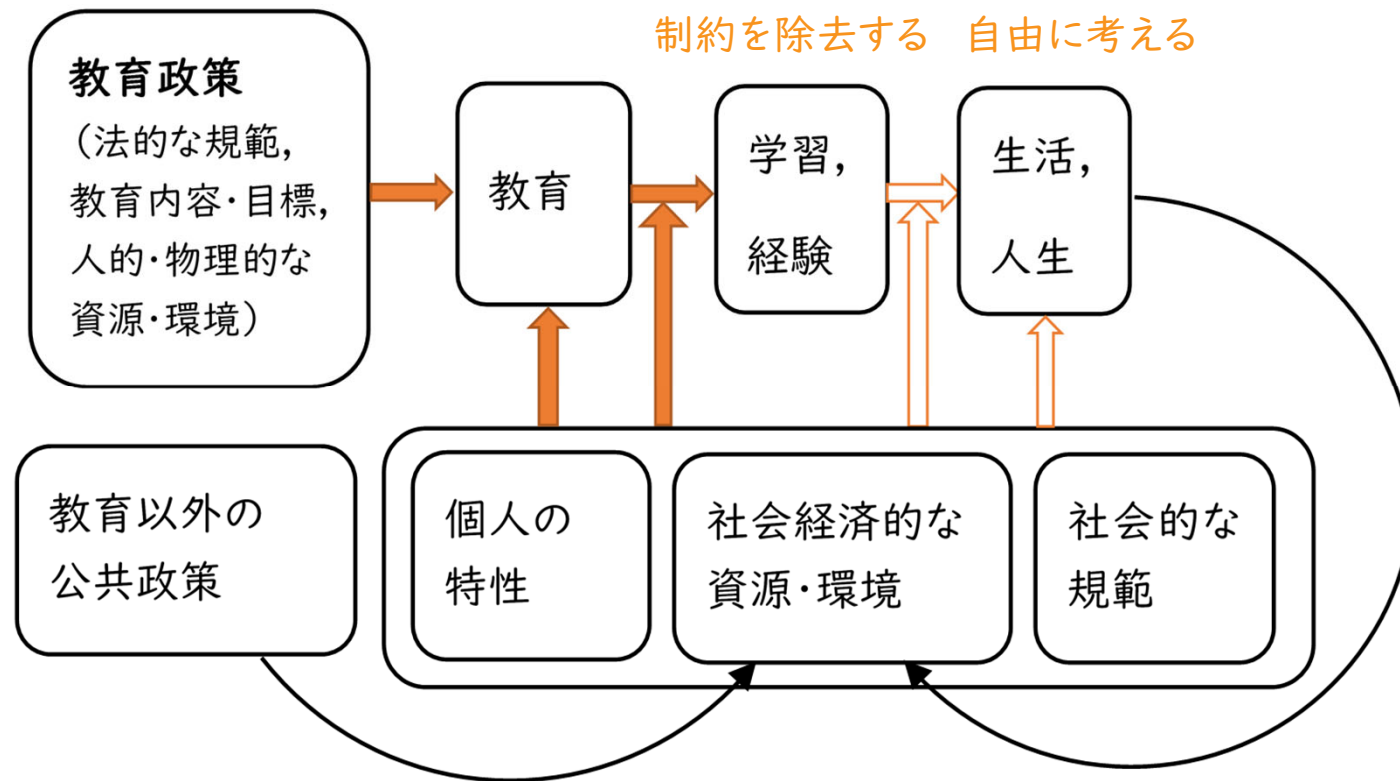
教育において、 なぜ公正について考えるか？

- 学習権を保障しようと考えれば十分ではないか？
- 学習権を実質的に保障するには、そのために必要な資源や支援について考えなければならない
- 誰にどのような資源や支援が必要とされているか、それらをどのように充足すべきか検討し、結果として実際に充足されたか評価する概念枠組みが必要
- 子供たちは現に多様な特性をもち、多様な成育環境にある
 - ➔ 質の高い教育を（であっても）、子供たちがそれぞれ学習につなげるには、その多様性に応じた多様な支援が必要

教育の公正とは？平等との関連は？

- 公正の追求は、全ての人々を個人として平等に尊重すべきことが前提だからこそ
- 全ての人々に、自律的な社会参加に必要な基本的な教育機会を提供すること（包摂）
- 個人の特性や成育環境（社会経済的な資源・環境, 社会的な規範）など、自分ではどうにもならない要因による教育機会の不平等を是正すること
- 何を平等にすべき教育機会と捉えるか？
- 誰と誰の間に（どのような要因で）教育機会の不平等があるか？
- どのような方法で教育機会の不平等を是正するか？

公正で質の高い教育の実現に向けた教育政策の射程



コロナ禍で見えた課題： ICTの必要性と社会経済的な不利の影響

- 学校での対面授業が実施不可能な状況
 - 今後も想定すべき緊急事態
 - 現に学校に登校しない／できない児童生徒の存在
- ICTの活用で可能となる同時双方向型の授業や学習指導の意義
 - 学習指導要領に沿った対話的な学習には、同時双方向型が必要
 - 児童生徒の学習への取り組み向上に効果的（イングランドの知見）
- 社会経済的背景による不平等とその拡大の懸念
 - もともと生じていた不平等、不利の累積、グループ間だけでなくグループ内でも

公正で質の高い教育の実現に向けた 資源と行動

- ICTの活用を可能とする資源の分配, 特に不利な学校や家庭への資源の分配
- 公正で質の高い教育の実現を目的に, ICTをツールとして活用するための, 教員への研修, 授業準備の時間の確保
- 日本の研究からの示唆: 公正で質の高い教育についての活発な議論

教育リーダーの授業や公正をめぐる考え方は様々であり, それがICTの教育活用の状況に関連

様々な教育の担い手の主体性や自律性は, こうした議論を通じてこそ公正で質の高い教育をもたらすのではないか

日本の今後の研究課題

- 今回の日本の分析からは、学校でのICT活用状況に対する、児童生徒の社会経済的背景の影響が指摘されなかった
- しかし、ICT活用状況の詳細や、ICT活用に由来した児童生徒の学習への取り組み状況に対し、社会経済的背景の影響がある可能性は残されるため、引き続き検討が必要
- 全体、市区町村、学校、児童生徒のいずれを対象とした、どのような資源の分配や行動が適切かについて検討が必要
- 最終的には、各個人が質の高い教育の機会を得ているか評価する観点も必要（市区町村単位や学校単位だけ比較するだけではなく）